

NEW YEAR MESSAGE



阪神・淡路大震災の経験を人と動物の幸せな未来へ

公益社団法人 Knuts(ノットス)

理事長 富永 佳与子

かな社会」は、単なる夢物語ではなく、現実の課題解決に向き合う段階になっています。

これからは、自分たち

の住む地域の実情に合わせて、様々なモデルが生

まれてくるのだろうと

ワクワクしています。

Knntsは、人と伴

侶動物、産業動物、野

生動物の関わりの概念の

整理をし、その相互の関

係性を理解し、お互いを

尊重し、調和して生きる

年に改めて向き合い、ま

た次の10年に向けて歩ん

で参りたいと存じます。

この流れは止まること

が、「人も動物も幸

せな社会」に繋がる「よ

その根底には、阪神・淡路大震災で知ることになつた「人と動物が支えあつて生きる姿」とそこから学びを進めて得たお互いの存在が、これからも未来をより良く生きていなくて必要」という深い理解があります。

「阪神・淡路大震災の経験を人と動物の幸せな未来へ」20年取り組んできたテーマに、「阪神・淡路大震災25年」の節目の年に改めて向き合い、また次に参りたいと存じます。

引き続きの「支援と厚い御礼申し上げます。」

令和初の新年が明けました。2020年はオリンピックもあり、華やかな年となりそうです。

神戸では、阪神・淡路大震災から25年の節目の年を迎えます。

私共Knntsは、1月12日に、一般社団法人設立10周年を迎え、5月10日はNPO法人設立から20周年、そして11月12日には、公益法人認定10

周年と大きなマイルストーンを踏みしめていく1年にです。

これも皆様方の温かいご理解とご支援によるものと、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

されていったことも、今は昔。今では、当時の飼い主さんたちが思い描いた、「動物たちと楽しく一緒に暮らせる仕組み」がどんどん整つていってます。

医の先生の姿に感銘を受け、1年後、日本愛玩動物協会が行つた「譲渡動物のその後の訪問調査」物のその後の訪問調査

物も幸せに共生する豊富な事業に取り組んできまし